

## 教育研究等環境の整備に関する方針

長岡崇徳大学は、学生と教職員が教育研究活動に専念でき、最新の看護の知を学び合い、創造することのできるキャンパス環境を目指して、以下の方針で教育研究等環境の整備を行う。

1. 学生の教育・研究活動に資する教育研究機器の整備を行う。
2. 図書館の整備と学術情報の充実を図るとともに、学術情報サービスの提供をはじめ、新しいサービスの提供にも積極的に取り組み、新たな知を創造する拠点となる図書館を目指す。
3. 研究活動に必要な研究室、ICT環境等の研究設備を整える。
4. 教員が学内外の競争的資金を得られるよう支援する体制を整備する。
5. 教員の研究時間を確保するための配慮を行うと同時に、学内外の研究助成制度の積極的活用に向けて支援する。
6. 研究活動の成果を社会に還元するために、地域や企業等のニーズに基づいた共同研究、受託研究、技術移転等を推進する体制を整備する。
7. 若手研究者の教育、研究能力の育成に向けた支援を行う。
8. 図書費の配分等、教育研究に関わる予算計画と執行に関しては公平性と透明性、厳密性を保つ。

令和7年2月1日制定